

都立総合工科高等学校 定時制課程 平成31年度 年間指導計画

平成31年4月1日

学年	1年	教科	外国語	科目	コミュニケーション 英語 I	単位数	2	区分	必修得
----	----	----	-----	----	-------------------	-----	---	----	-----

教科書	COMET English Communication I (三省堂)								
-----	-------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

副教材	なし								
-----	----	--	--	--	--	--	--	--	--

担当教諭氏名	小川 妙 / 永田 容子								
--------	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--

教科・科目の目標・ねらい									
<p>学校と呼ばれる場所で「英語を学ぶ」のは、最後となる生徒もいるかもしれない。そのため、英語の勉強が楽しかったと思える、また普段からこの先も使えるような、簡単に身近な英語を音声や映像を用いて聞いたり、話したり、読んだり、書いたりしていきたい。上位層の目標は英検4級程度、そして下位層は5級程度の文法力と語彙力を身に付けさせる。それと同時に、基礎的な英語力を身につけさせ、ALTとの会話を通して少しでも異文化理解につながるようにしていきたい。</p>									

評価のねらい・観点									
<ul style="list-style-type: none"> ・きちんとALTの英語を聞く姿勢ができているか ・積極的にALTの呼びかけに答えているか ・英語の基礎的知識を身につけようと励んでいるか ・海外の国々に関心を持ち、他国の文化を理解しようとしているか ・毎回出されるプリントを理解しながら埋めているか。 <p style="text-align: center;">※定期考査 計5回実施</p>									

予定時数		指導内容
1学期	25	<p>※通年で週に5つの動詞を完璧に覚えさせる。また導入のALTとのあいさつ・発問を通じて、1年間で日付、曜日、天気等を言えるようにさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語と日本語の文の構造の違いに気づかせる。 ・動詞の種類が2パターンあることを教え、be動詞と一般動詞の違いを理解させ、使い分けられるようにする。 ・疑問文と否定文が作れるようになる。
2学期	30	<p>Lesson 1 Why do you study English? 過去形の作り方を学び、理解させ、自分で文を作れるようになる。</p> <p>Lesson 2 Washoku: Our Traditional Food 助動詞can/willとの英文上の役割と使用方法を理解させ、自分たちで英文を作れるようにさせる。和食への知識を深める。</p>
3学期	15	<p>Lesson 3 What should I do? 現在進行形の形 (be + 動詞ing) を理解させ、現在形との日本語と英語でのそれぞれの違いに気づかせる。進行形の疑問文と否定文も作れるようになる。</p>
学年計	70	

その他									

都立総合工科高等学校 定時制課程 平成31年度 年間指導計画

平成31年4月1日

学年	4年	教科	外国語	科目	コミュニケーション 英語 I	単位数	2	区分	選択
----	----	----	-----	----	-------------------	-----	---	----	----

教科書	All Aboard! Communication English I (東京書籍)
副教材	なし

担当教諭氏名	小川 妙
--------	------

教科・科目の目標・ねらい
<p>「中学校3年間の英文法が身につけていけば英語は話せるようになる」とよく言われており、中学3年間で学ぶ英語は大変重要である。この授業ではその復習を生徒一人一人に合ったペースで行っていく。目標レベルは英検3級とする。また、その復習した英語をそのまま使ってALTと実践的に会話をすることで、その表現を定着させ、普段から使えるようにしていく。ペアワークを取り入れ、他者とのコミュニケーションをする場を多く持ったり、自分たちで問題解決をしていけるような授業</p>

評価のねらい・観点
<p>①関心・態度・意欲 授業への積極的参加と意欲、関心度 ②表現能力 段階的な文法表現の定着度 ③理解力 相手の考えや文章の内容理解度 ④知識 日常的英語表現、基本単語、文法能力 ※定期考査 計5回実施</p>

予定時数	指導内容
1学期 25	<p>ALTの発音やイントネーションをよく聞き、リピートさせたり、その場に応じたやりとりができるようにする。</p> <p>Lesson 1 be動詞・一般動詞の違いの定着 Lesson 2 過去形と現在進行形 Lesson 3 様々な助動詞の使用方法を定着させる</p> <p>文法の役割と使い方を身につけ、自分で書いたり話したりする。</p>
2学期 30	<p>ALTの英語に慣れ、文法事項を英語での説明でも理解できるようになり、応答も英語でできるようになる。</p> <p>Lesson 4 to不定詞の用法を理解し、使いこなせるようになる Lesson 5 動名詞の定着、to不定詞の名詞的用法と関連させて理解させる Lesson 6 受動態の理解を定着させるために、能動隊を受動態の書き換えに挑戦させる</p>
3学期 15	<p>様々な英語表現を使いこなし、文章を書いたり、自分の考えを話したりできるようになる。</p> <p>Lesson 7 現在完了の用法を正しく理解させる Lesson 8 形式主語のitの様々な使い方を知る</p>
学年計 70	

その他

都立総合工科高等学校 定時制課程 平成31年度 年間指導計画

平成31年4月1日

学年	4年	教科	外国語	科目	英語会話	単位数	2	区分	選択
----	----	----	-----	----	------	-----	---	----	----

教科書	SELECT English Conversation (三省堂)
副教材	なし

担当教諭氏名	小川 妙
--------	------

教科・科目の目標・ねらい
<p>英語で会話するためには「ミスを恐れず、明るくフレンドリーに相手に対応する」ことが必要不可欠である。それが身につく雰囲気づくりを授業内で行い、英語の苦手意識を取り除く。その中で、日常生活で必要になるであろう英語の会話文を読んだり書いたり、聞いたり言ったりして、基礎的な英語力を身につけさせる。また、異文化についてもっと知れるような授業にしていきたい。</p>

評価のねらい・観点
<ul style="list-style-type: none"> ・きちんとALTの英語を聞く姿勢ができているか ・間違っても、英語を話そうとする努力をしているか ・周りとの協力して活動しているか ・英語の基礎的知識を身につけようと励んでいるか ・外国に理解と関心を持ち、他国の文化を理解しようとしているか <p>※授業内で会話のテスト(計5回)、表現暗記の小テスト(毎回)を行う。</p>

予定時数	指導内容
1学期 25	<p>※通年でALTの発音やイントネーションをよく聞き、リピートさせたり、ロールプレイなどの活動をペアで行わせる。</p> <p>Lesson 1 Lesson 2 基礎的な英語音声の聞き取りと発声練習を行い、あいさつなどの簡単な日常会話が少しずつできるようにする。</p> <p>Lesson 3 Lesson 4 レストランで食べ物を注文できるようになる。</p>
2学期 30	<p>Lesson 5 Lesson 6 天気・気候について会話ができるようになる。 お店でほしいものを買うことができる。</p> <p>Lesson 7 Lesson 8 都合を英語で尋ね、自分のものと調整できるようになる。 道を英語で尋ねる。</p>
3学期 15	<p>Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11 人物描写を英語でできるようになる。</p>
学年計	70

その他